



2019年4月19日

各位

会社名 大日本住友製薬株式会社
 代表者名 代表取締役社長 野村 博
 (コード: 4506 東証第1部)
 問合せ先 執行役員
 コーポレートコミュニケーション担当 樋口 敦子
 (大阪: TEL. 06-6203-1407)
 (東京: TEL. 03-5159-3300)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2018年5月11日に公表した2019年3月期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	当期利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	467,000	77,000	53,000	35,000	35,000	88.10
今回修正予想(B)	459,300	77,300	57,900	48,600	48,600	122.33
増減額(B-A)	△7,700	300	4,900	13,600	13,600	—
増減率(%)	△1.6	0.4	9.2	38.9	38.9	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	466,838	90,604	88,173	53,448	53,448	134.53

(注)コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

2. 修正の理由

売上収益は、北米セグメントで軟調に推移した結果、前回発表予想から77億円減の4,593億円を見込む一方で、コアベースの販売費及び一般管理費、研究開発費は減少する見込みであり、コア営業利益は前回発表予想並みの773億円を見込んでいます。

営業利益は、一部の無形資産等についての減損損失を計上予定である一方、条件付対価公正価値の変動額が、事業計画および開発計画の見直しにより費用の戻入となる見込みであることから、前回発表予想から49億円増の579億円を見込んでいます。

当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は、円安による為替差益を金融収益に計上し、また、法人所得税が減少する見込みであることから、前回発表予想から136億円増の486億円に修正します。

(注) 本プレスリリースに含まれる将来の予測等に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。したがって、業績・その他の将来の予測等に関する事項は、今後さまざまな要因によって本リリースの記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上